



1914 フォード モデルT ツーリングカー



製造情報

製造商	フォードモーターカンパニー /フィールドボディカンパニー
組付工場	ミシガン州のハイランドパークのフォードハイランド パーク工場、(子会社工場)
モデル生産量	165,832
総生産量	202,667
馬力	20
重量	1,200 Pounds/544 Kilograms
当時売価	\$550 (USD)

イノベーション(ポイントのみ)

流れ作業式組み立てラインによって作られた最初のモデルT

車の後部に折り畳み可能なフロントガラス

擬革

ドアのハンドルは内側に付属

この年作られた車は全部黒で生産された

1913年に比べ140ドルの値下げ

流れ作業式組み立てライン

1914年は、モデルTがハイランドパークの新しい工場で流れ作業式組み立てラインによって作られた最初の年です。また、黒一色で提供した年もこれが初めてでした。黒の日本製のエナメル塗料は当時唯一知られていた塗料であり、また大幅に増えた車の生産量にも追いつくほど早く乾燥しました。こうして、1909年にはライン生産方式による生産台数がわずか1万台だったのに対し、1914年の流れ作業式組み立てラインによって20万台にまで増やしました。価格は、1904年から1914年までの間850ドルからわずか550ドルにまで下がりました。また、1914年にはヘンリーフォードが工場労働者の平均賃金を倍増させた有名な「5ドルの日」を開始した年で、労働時間も10時間から8時間に減少しました。(当時日給5ドルはとんでもない破格だったそう)

貸与先: Sandra & Mike Skinner